

わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。

八重瀬町

地域ぐるみで児童の健全育成に取り組む

八重瀬町では、社会教育に力を入れている町の支援を受けて、子ども会育成連絡協議会(通称子ども会)の活動が活発に行われています。

現在、町内にある三十三の子ども会が実施しているのは、スポーツ関連行事や宿泊研修、子ども祭りなど多彩な行事。主役は小学生の子どもたちですが、保護者がサポートにあたっていきます。

「保護者の皆さんにはお忙しい中、どうか時間を作っていただいています。そこには『地域の財産である子どもたちの育成には、大人たちが協



参加者を集めるのは子ども会の担当。異なる年齢の交流で縦のつながりができます

本部町

地域の生活改善を促進。豊かな地域の食材を生かした特産品の開発を目指す

本部町では、地産地消を推進するとともに、地域の農産物や水産物を活用した新たな特産品の開発にも力を入れています。

「本部町は土壌分布が幅広く、食材の種類が豊富です。朝市を開いたり、直売所を設けるなど、各地域で地産地消の動きが見られますが、地域の食材を生かした料理の普及に関しては、本部町農山漁村生活研究会の活動に大いに助けられています」と町産業振興課の座覇昭課長。



エコクラフト講習会の作品。梱包用のテープや米の化粧箱を利用した手作りのカゴや小物入れ

同研究会は、生活改善グループを前身とし、昭和四十九年、地域社会の生活改善を促進することを目的に結成されました。現在、六十代を中心に五十七名の会員が所属しています。同会会長の阿波根明子さんは、「カツオや山芋、落花生など、地域の食材を生かした料理の講習会を開催したり、イベント会場で調理品を振る舞ったりしています。地域の先輩方の残されたレシピを頼りに、今では作られることが少なくなった料理を掘り起こしたり、メンバーで相談して、新しいレシピを作ることもあります。また、廃品などを利用して、カゴや小物入れを作るエコクラフト講習会も人気があります」と多彩な活動ぶりをアピール。事務局は町産業振興課内に設置されており、同課で補助金の申請や総会の準備、講習会の会場の手配などの支援を行っています。

海洋博公園のある本部町は農林水産業の他に、観光業も盛んです。「観光協会からの依頼で、修学旅行の体験学習のお世話をすることもあります。去年は老人会と協力して、サターアングギーやもずくのテンプラなどを高校生と一緒に作りました。また、



各地域の子ども会を代表して選手宣言。町職員は記録係などを担当しています

力していく」という共通した思いがあります。活動を通じて顔見知りの子が増えけると、深夜徘徊パトロールなどで子どもたちの安全も見守りやすくなります」と子ども会の果たす役割について語る、八重瀬町子ども会育成連絡協議会会長の川平清さん。

こうした子ども会の行事のひとつとして官民協働で開催しているのが、「八重瀬町児童オリンピック大会」です。昭和五十八年に東風平運動公園陸上競技場完成を記念してスタートした大会は、旧東風平町時代からの恒例行事で、児童、保護者、町職員など総勢約八百名が参加する一大イベントになっています。「子どもたちの交流や健全育成、健

康・体力づくり、そして競技力の向上を目的に開催しています。雨などで延期になると、「うっ、やるのっ」と問い合わせがくるほど、子どもたちも楽しみにしており、孫の活躍を楽しみに駆け付けるおじいさんやおばあさんも多いなど、地域ぐるみの大会として定着しています」と大会の盛り上がりを喜ぶ町社会教育課の金城隆雄課長。さらに「地域の子どもたちが主役ですので、地域の協力なしには開催できません。子ども会行事のサポートは大変だと思いますが、子どもたちの成長に、待ったはありません。そのためにも大人が協力したい、続けていくことが大切」と強調する。地域づくりに欠かせない協働の大切さを継承しています。



写真左から八重瀬町子ども会育成連絡協議会の川平清会長、八重瀬町教育委員会社会教育課の金城隆雄課長

八重瀬町教育委員会 社会教育課 TEL:098-998-8383



海洋博公園のイベントに協力するなど町の観光にも貢献。揃いのエプロン姿でムーチャー作りに励みます

毎年行われる海洋博公園のイベント行事にも協力し、ムーチャー(鬼餅)や黒糖づくり体験のお世話もしています」と阿波根さん。「今後の課題は活動の拠点として専用の調理所を持つこと。達成したら、特産品の開発、商品化に取り組みたいと思っています」と夢を広げています。



左から産業振興課の座覇昭課長、農山漁村生活研究会の阿波根明子さん、友寄良子さん、喜納明美さん、同課の天久洋子さん

本部町役場 産業振興課 TEL:0980-47-2412

編集後記

四月は新しい環境がスタートする月ですね。街を見渡すと、初々しい制服、スーツ姿の人々が見えます。私も社会人となって10年目、初心忘れるべからず頑張っていると思っています。

よし、基本にかえて素振りキャッチボールをしようっと！(ノア)

この四月からめでたく新一年生になる我が娘おはあから買ってもらったランドセルを背負ってはしゃいでいます。そんな娘を横目に少し前までハイハイしていたのがもう小学生だなんて子どもの成長はとて早いということを実感しましたが、それと同じくらい自分が歳をとっていくのも早いということに気が付いて軽く落ち込みました。時よ、止まれ！(疾)(Tak o)

沖縄県広報誌 平成21年4月1日発行第33巻4号通巻403号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文:今泉 真也

通りをそれ路地裏に入ると風が変わる。土が太陽のエネルギーをほどよく吸いこんで、樹がゆっくりとはきだす。その温もりが子どもを育てる。

■P12-P13 季節情報提供

(財)沖縄観光コンベンションビューロー



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!